

# 令和3年度 事業計画

## 一般財団法人 津山慈風会

### 目 次

令和3年度 一般財団法人津山慈風会 事業計画 (概要) . . . . .	1
中期経営計画および令和3年度事業計画 一般財団法人 津山慈風会 . . . . .	6
中期経営計画および令和3年度事業計画 津山中央病院 . . . . .	8
令和3年度事業計画 津山中央記念病院 . . . . .	16
令和3年度事業計画 津山中央クリニック . . . . .	18
令和3年度事業計画 津山中央看護専門学校 . . . . .	19
令和3年度事業計画 津山訪問看護ステーション . . . . .	20
令和3年度事業計画 津山中央居宅支援事業所 . . . . .	21
令和3年度事業計画 アーバンライフ二階町 . . . . .	22
令和3年度事業計画 ナイスデイ二階町 . . . . .	23
令和3年度事業計画 フィットネス&スパ CARVATA . . . . .	24
令和3年度事業計画 法人本部 . . . . .	25

## 令和3年度 一般財団法人津山慈風会 事業計画（概要）

今年は昭和28年に法人が誕生し68年、昭和29年に津山中央病院を開設して67年、平成9年に国立療養所津山病院の経営移譲を受けて24年を迎えることとなります。さて昨今の医療・福祉を取り巻く環境を鑑みますと、団塊の世代が後期高齢者になる2025年がいよいよ目前となり、岡山県北地域ではますます高齢化が進み、患者構成、疾病構成が大きく変わってきております。また昨年は新型コロナウイルスのパンデミックが起き、医療のみならず社会全体で見通しが不透明な時代となっております。今年はこのような大きな環境変化に直面した事業展開となります。

まず新型コロナウイルス感染症対策については、昨年に引き続き同感染症の重点医療施設である津山中央病院を中心に岡山県北における対策を実施し、地域住民の安心と安全を守るセーフティネットの役割を果たして参ります。また患者の受診控え、疾病構成の変化、感染対策のための医療従事者の負担増加など、これまで見られなかった変化への対応も求められます。

続いてマンパワーの確保が大きな課題です。昨年は看護師不足と新型コロナウイルス感染症患者の入院病床確保のため、たいへん難しい病床運営となりました。今年度は必要な人材を確保し、特に集中治療室など重症者病床を増やすことが重点課題となります。また、限られた数での病床運営となりますので、これまで以上に地域連携を推進したり、病棟機能を向上して、在院日数を短縮することも重要な課題となります。地域の医療ニーズに応えるため、在院日数の適正化に津山中央病院グループ全職種をあげて対応します。

関連して「働き方改革」への対応が急務となります。法規制対応という面だけでなく、医療スタッフのパフォーマンスを向上させるためにも、適正な労働時間遵守、チーム医療によるタスクシフト・タスクシェア、ICT・AIの整備や業務改善による労働生産性の向上に努めます。ハラスメント対策など働きやすい労働環境づくりにも注力します。

基本方針に掲げる重点項目の取り組みにも引き続き注力します。

「お断りしない救急」については、「救命救急センターの整備に向けて」を今年度の重点目標の1つ（2ページ）に掲げました。救急医、看護師などのマンパワー確保が課題となります。

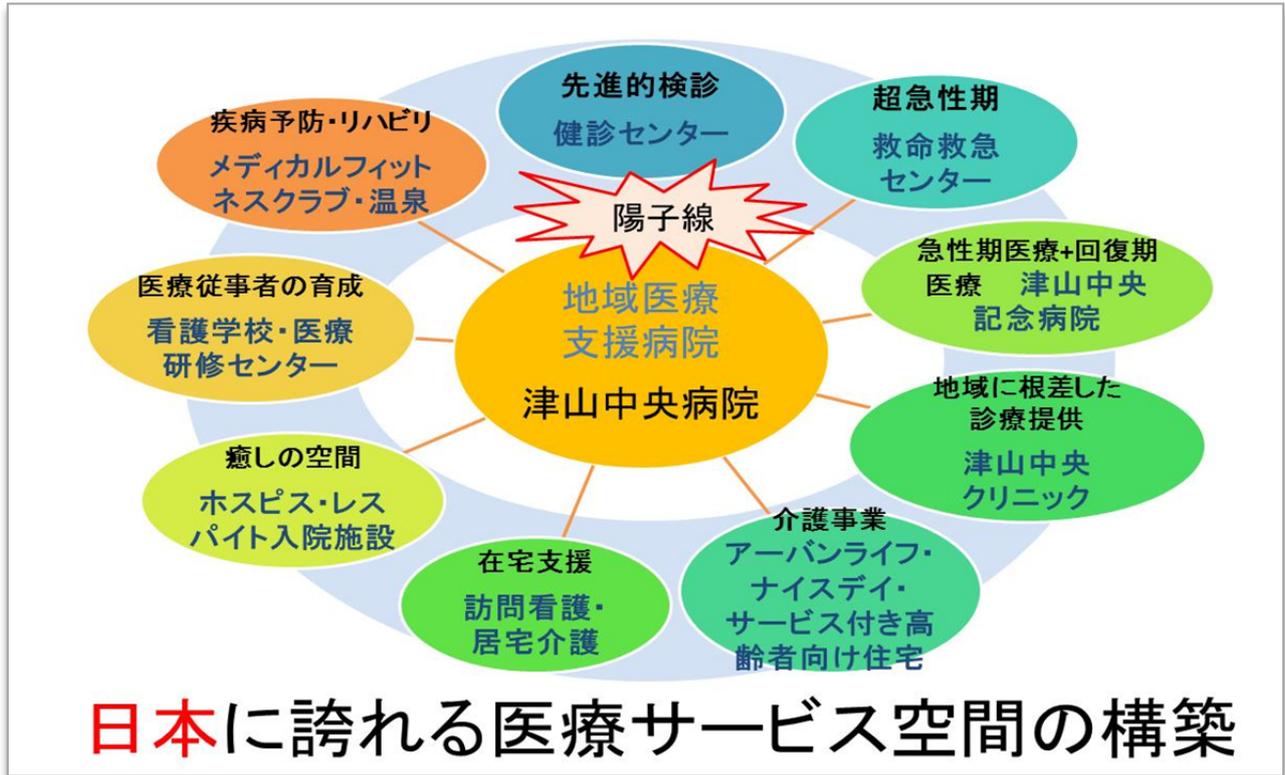
「最先端医療の提供」のため、POWER UP 5で完成した施設についての運用面での充実が課題となります。特に陽子線治療、集中治療室、手術支援ロボット（ダヴィンチ）などを擁する高規格手術室について症例数の拡大に努めます。新規術式については施設基準を取得したばかりの経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）について症例数の拡大を目指します。

この他に地域ぐるみで医療を支えるための連携登録医とのアライアンス強化、回復期・介護・在宅分野の充実（主に二階町のグループ事業所）、健診事業および健康増進事業の拡充、医療インバウンドの拡充、臨床研修医や看護師（看護学校）など医療従事者の育成、といった事業を展開してまいります。そしてそのために必要な経営基盤の強化も同時に行ってまいります。

津山中央病院本館が竣工してから20年が経過し、空調設備、配管設備などが老朽化し、更新工事を行う時期になっております。こちらも昨年から引き続き優先するべき事業となっております。更新工事の進捗に合わせて、旧腹部エコー室、旧中央材料室の跡地利用、採血室の拡張、助産師外来の開設などの改修工事についても検討を進めます。

今年度は中期3ヵ年計画の2年目として、事業を展開していくこととなります。より具体的な令和3年度の事業計画は以下の通りです。

# 中 長 期 ビ ジ ョ ン



## 今 年 度 重 点 目 標

テーマ	計画年度						
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
I ハラスメント撲滅を目指して							
II 働き方改革（看護師）					1年延長		
III 救命救急センターの整備に向けて							
IV コロナ時代への対応							
V 入院期間Ⅱでの退院 ～目標 全体で70%～							
VI 二階町と川崎とのスムーズな転院							
※完了	働き方改革（医師）						
	新規入院獲得とのための病院整備						
	二階町と川崎の連携強化						
	介護・在宅を学ぶ						

# 令和3年度 各事業所の事業計画（概要）

## 1. 津山中央病院

- 岡山県北における新型コロナウイルス対策の中心的な役割を担う（新型コロナウイルス感染症重点医療機関）
  - ・入院患者受入れ体制、院内感染防止体制、PCRなど検査体制、ワクチン接種の体制、マスクなどの防護具確保など診療体制の充実
  - ・行政、医師会、各種団体との連携、地域への啓発など地域をリードする役割を果たす
  - ・パンデミックによる患者構成、疾病構成、受療動向の変化に対する対応
- がん陽子線治療センターの機能拡充
  - ・前立腺がんなど保険適用されている領域および先進医療の適用される領域の症例数増加
- 新手術室、新血管撮影室の効率的な運用
  - ・手術センター拡張してできた4つのOP室についての効率的な運用
  - ・経カテーテル的大動脈弁植え込み術の運用安定と症例数拡大
  - ・手術支援ロボット「ダヴィンチ」の安定した運用および症例の適用拡大
  - ・血管造影室（2部屋）についての効率的な運用
- 病棟の安定稼働
  - ・集中治療室の増床
  - ・一部病床の運用制限をした状態での安定した患者受入（看護師不足と新型コロナウイルス対応）
  - ・DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合の向上（全体で70%を目指す）
- 「お断りしない救急」「高度医療の提供」のための機能充実
- 地域連携の推進（連携登録医、介護・在宅、津山中央病院グループとの連携）
- 働き方改革および働きやすい環境づくり
  - ・医師の長時間労働対策など働き方改革の推進
  - ・看護師の確保と負担軽減のための対応推進（始業前残業の削減）
  - ・業務の効率化の推進（ICT・AI、業務改善）
  - ・ハラスメント撲滅を目指す（研修会、相談員制度）
- 特定病院群（DPC）の更新（手術件数、高指数手術、DPC入院期間Ⅱの取り組み）
- 病院機能評価の更新（令和4年度）の準備

## 2. 津山中央記念病院

- 地域包括ケア病床の拡充
  - ・安定稼働および適応の最適化の検討
  - ・増床の検討
- 療養病棟の安定稼働
  - ・安定稼働を目指しさらなる充実を図る
- 透析センターの充実
  - ・看護師・MEを確保し慢性医療の充実を図る
- 津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上
- 介護・在宅との連携強化
- 働き方改革
  - ・医師の長時間労働対策など働き方改革の推進
  - ・看護師の確保と負担軽減のための対応推進
  - ・業務の効率化の推進
  - ・ハラスメント撲滅を目指す

## 3. 津山中央クリニック

- 津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上
- 働き方改革
  - ・医師の長時間労働対策など働き方改革の推進
  - ・看護師の確保と負担軽減のための対応推進
  - ・業務の効率化の推進
  - ・ハラスメント撲滅を目指す
- 新型コロナウイルス対策

#### 4. 津山中央訪問看護ステーション

- 機能の充実
  - ・スタッフの充実とスキルアップ
  - ・特徴である医療対応のスキルの高さを生かし、医療的ケア児、ターミナルケア、難病、人工呼吸、在宅酸素、腹膜透析、人工肛門の対応件数を増やし、看護体制強化加算、機能強化型訪問看護ステーション加算を目指す
- 働き方改革
  - ・看護師の確保と負担軽減のための対応推進
  - ・業務の効率化の推進
  - ・ハラスメント撲滅を目指す
- 津山中央病院との連携強化
- 地域の在宅医療・在宅介護との連携強化

#### 5. 津山中央居宅介護支援事業所

- 利用者数の増加
  - ・質の高いケアマネジメントの実践
- 働き方改革
  - ・業務の効率化の推進
  - ・ハラスメント撲滅を目指す
- 津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上
- 津山中央病院グループと地域の在宅医療・在宅介護との連携強化

#### 6. 津山中央看護専門学校

- 地域医療の充実に貢献する優秀な看護師の育成
  - ・慈風会関連施設や近隣医療機関に就職をさせる
- 優秀な学生の確保
  - ・地元高校生への積極的な情報発信など
- 主体的に行動できる学生の育成（卒業後も学び続ける学生の育成）
- 国家試験全員合格
- 業務の見直しと効率化
  - ・教職員の多忙化の軽減に取り組み、学生と向き合う時間を確保する
  - ・例年通りではなく、新しいことへ挑戦する気持ちを持ち続ける

#### 7. 有料老人ホーム アーバンライフ二階町 8. 小規模多機能施設 ナイスデイ二階町

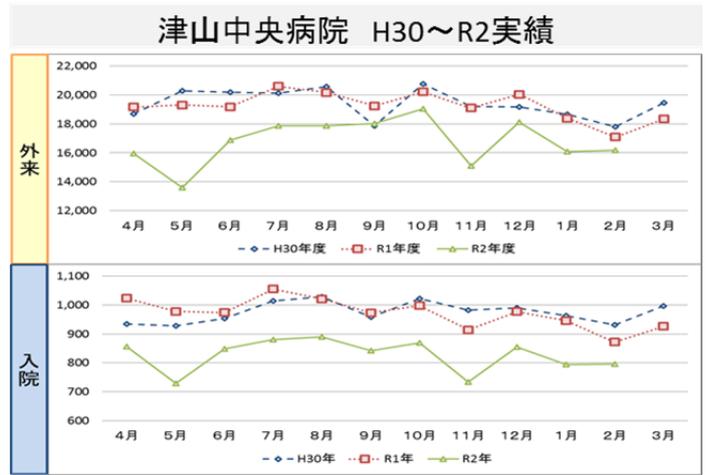
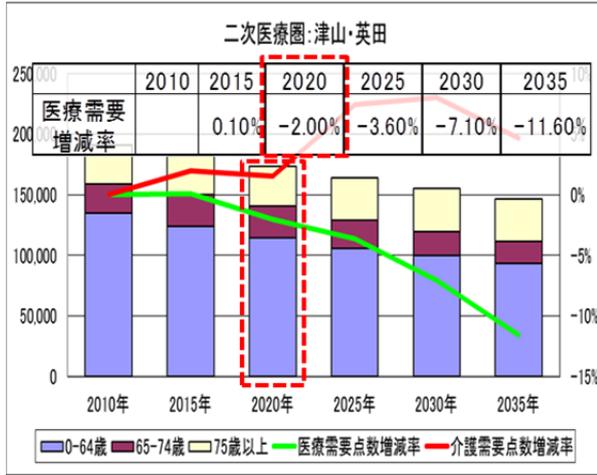
- 稼働率向上と契約者数の拡大
- 入居者や利用者により満足いただけるためのサービス向上
- 働き方改革
  - ・業務の効率化の推進
  - ・ハラスメント撲滅を目指す
- 津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上
- 津山中央病院グループと地域の在宅医療・在宅介護との連携強化

#### 9. フィットネス&スパ カルヴァータ

- 会員数増とサービスの充実に努め、健康増進に寄与する
- 働き方改革
  - ・業務の効率化の推進
  - ・ハラスメント撲滅を目指す
- 津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上
- 新型コロナウイルス対策

参考

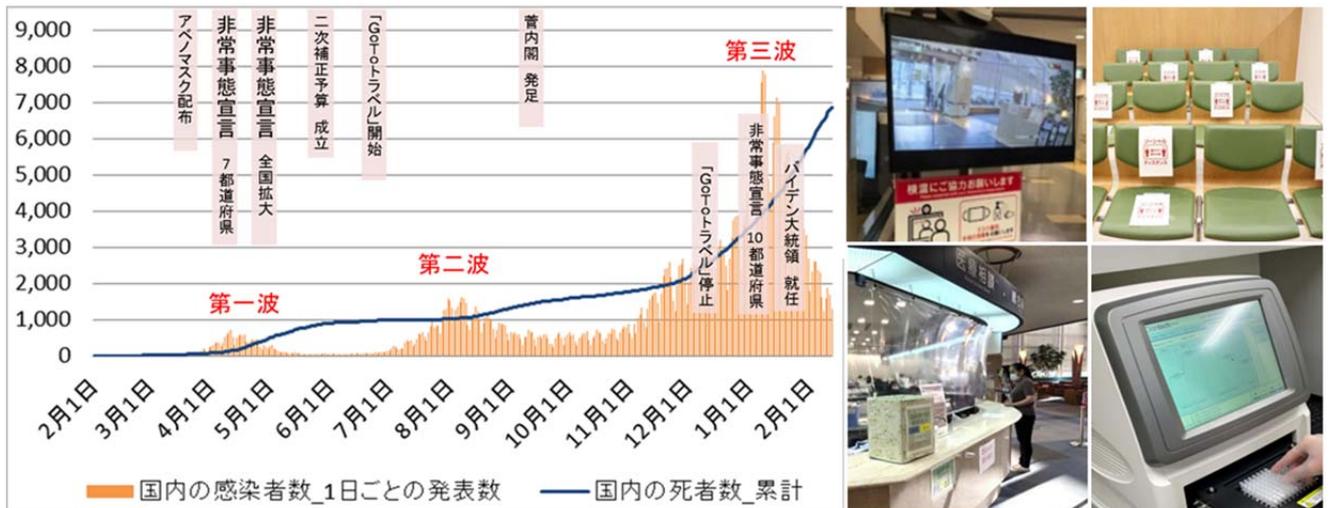
【患者数、医療ニーズの分析】



【津山中央病院 再整備事業 POWER UP 5 (令和元年竣工)】



【新型コロナウイルス対応】



# 中期経営計画および令和3年度事業計画 一般財団法人 津山慈風会

## 目 次

中期経営計画の策定について

津山慈風会の理念

基本方針

基本方針に基づく中期経営計画骨子

## 令和3年度事業計画の策定について

津山慈風会は丸68年を迎え、津山中央病院が誕生し丸67年を迎えます。令和元年に津山中央病院再整備計画「POWER UP 5」が完成し、今年度は当財団の新たなステージを迎える年となります。平成27年度のがん陽子線治療センターを皮切りに、平成29年度に出来た新病棟（N館）、そして令和元年度に拡張工事が完了した手術センターなどを活用し、地域の皆さんに高度医療を提供できるよう努めます。昨年、新型コロナウイルスのパンデミックが起き、医療を取り巻く環境が一変しましたが、当財団は新しい令和の時代にふさわしい医療サービス空間をつくるため、ますます精進して参ります。

理事長

### 津山慈風会の経営理念

作成：平成13年 8月14日  
改定：平成24年 1月12日（第2版）  
直近見直：令和 3年 4月 1日

#### 理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

#### 基本方針

1. 顧客の人権を尊重した、顧客第一主義の医療、保健、福祉を实践する。
2. 先進機器、先進技術の情報を収集し、計画的な導入を進める。
3. 職員倫理や技術、安全に対する教育・研修を継続的に行う。
4. 地域医療、保健、福祉の連携システムを構築する。
5. 地域高齢者福祉に貢献するために介護・福祉事業を展開する。
6. 地域の健康づくりに貢献するための事業を展開する。
7. 地域医療に貢献する人材を育成する。
8. 医療、保健、福祉を担う各施設の運営の適正化及び業務の効率化を図る。
9. 法令・社会規範を遵守し、内部統制の充実を図る。
10. 健全経営を維持するために経営管理、施設運営管理を強化する。

## 基本方針に基づく中期経営計画骨子（令和2～4年）

1. 顧客の人権を尊重した、顧客第一主義の保健、医療、福祉を実践する  
①顧客の立場にたった医療、看護、介護を提供する 2～4年  
②顧客の権利とプライバシーを遵守する 2～4年
2. 先進機器、先進技術の情報を収集し、計画的な導入を進める  
①ハイブリッド手術室 経カテーテル的大動脈弁植え込み術の施設基準取得 2年  
②手術支援ロボット 前立腺がん手術の施設基準維持、その他の領域の適用拡大 2～4年
3. 教育・研修を継続的に行う  
①職員倫理に対する教育・研修を継続的に行う 2～4年  
②技術習得のための教育・研修を継続的に行う 2～4年  
③医療安全、感染対策、医療倫理に対する教育・研修を継続的に行う 2～4年
4. 地域医療、保健、福祉の連携システムを構築する  
①地域のネットワークを構築する 2～4年  
②医療連携による地域完結のしくみを推進する 2～4年
5. 地域高齢者福祉に貢献するために介護事業を展開する  
①在宅介護事業を推進する 2～4年  
②介護事業の領域を拡大する 2～4年
6. 地域の健康づくりに貢献するための事業を展開する  
①健診事業の充実を図る 2～4年  
②健康増進施設を充実させる 2～4年
7. 地域医療に貢献する人材を育成する  
①看護教育・卒後研修を充実し、人材の地域定着を図る 2～4年  
②医師臨床研修を充実する 2～4年  
③地域医療従事者への教育環境を充実する 2～4年
8. 医療、保健、福祉を担う各施設の運営の適正化を図る  
①地域基幹病院の機能を充実する 2～4年  
②各施設に求められる機能を充実する 2～4年
9. 法令・社会規範を遵守し、内部統制の充実を図る  
①法令遵守の監視体制を推進する 2～4年  
②個人情報保護のしくみを構築する 2～4年  
③働き方改革を推進する 2～4年
10. 健全経営を維持するために経営管理、施設運営管理を強化する  
①急性期医療におけるコスト管理を強化する 2～4年  
②経営統計資料を整備し、分析・活用を図る 2～4年  
③医療インバウンドを推進する 2～4年  
④人材確保のための福利厚生、働きやすい環境を整備する 2～4年



# 中期経営計画および令和3年度事業計画

## 津山中央病院

### 目 次

1. 津山中央病院の理念、基本方針、行動規範、患者の権利と責任
2. 基本方針の具体的内容
3. 基本方針に基づく中期経営計画（令和2～4年度）
4. 令和3年度事業計画

# 1. 津山中央病院の理念、基本方針、行動規範

作成：平成13年 8月14日  
改定：平成24年 1月12日（第2版）  
直近見直：令和 3年 4月 1日

## 理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

## 基本方針

- ・お断りしない救急診療に努める
- ・最先端の医療を提供する
- ・地域医療機関との連携を強化する
- ・地域に貢献する活動を推進する
- ・教育、人材育成に傾注する
- ・健全な経営に努める

## 行動規範

私たちは、患者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 患者満足：患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供します
2. 地域満足：地域医療支援病院として、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

## 患者の権利と責任

当院では患者を尊重し、患者と当院の信頼関係を深めよりよい治療を行うために次に掲げる患者の権利と責任を宣言します。

### 患者の権利

- ① 人格を尊重した良質で最適な医療・看護を継続して平等に受ける権利
- ② 担当医師から診断・治療・予後について納得できるまで十分な説明を受ける権利
- ③ 担当医師から治療に入る前に、治療方針等について十分理解したうえで同意、或いは選択するのに必要な情報を得る権利
- ④ 必要な情報を得た上で、治療方針を自ら決める権利
- ⑤ 治療に関するすべてのコミュニケーション、記録等の個人情報およびプライバシー情報が極秘扱いされる権利
- ⑥ 医療費の請求内容を確認したり、内容についての説明を受ける権利
- ⑦ セカンドオピニオンが保障される権利
- ⑧ 定められた手順に従って、自己の診療記録の開示を受ける権利

### 患者の責任

1. 昔かかった病気、入院や内服薬を含めて自身の健康状態について情報を提供する責任
2. 治療を継続して受けることが出来ないと考えたときには担当医に告げる責任
3. 保険に関する情報を提供する責任
4. 医療費を速やかに支払う責任
5. 病院が決めた規則・ルールを守る義務

## 2. 基本方針の具体的内容

1. お断りしない救急診療に努める
  - ・ 救急受診重症患者あるいは地域医療機関よりの紹介患者に対して、迅速かつ適正な入院管理体制の構築に努める。
  - ・ 救命救急センターの役割を全うする。
  - ・ 救急医療は地域住民への安心の提供と、信頼される地域医療連携の基盤をなすものとする。
2. 最先端の医療を提供する
  - ・ 常に医療の質向上に努力する。
  - ・ 各分野ごとに最先端の医療を提供できるよう、人材の確保と育成に努める。
  - ・ 医療実績は、国内はもとより海外にも積極的に情報を発信し、評価していただく。
  - ・ 医療の質向上のために必要とする適正な投資を継続的に行い、職員の意欲向上にも寄与する。
3. 地域医療機関との連携を強化する
  - ・ 地域連携の必要性・重要性を職員一同共有する。
  - ・ 「自己完結型」医療から、「地域完結型」医療の中心的存在として貢献する。
  - ・ 地域医療支援病院を中心とする津山慈風会グループとしての自覚を持ち、地域の医療、福祉関係者と密に連携をとる。
  - ・ 岡山県北地域の医療の質向上と患者さんのQOL向上のため円滑な医療連携を図る。
4. 地域に対する啓発活動を推進する
  - ・ 地域へ保健、医療、福祉についての啓発活動を行う
  - ・ 津山慈風会の事業への理解を深めていただき、信頼と親近感を持てる病院をめざした、種々の活動に取り組む
5. 教育、人材育成に傾注する
  - ・ 「人は城、人は石垣、人は堀」を踏まえ、病院、地域を支えるのは慈風会職員そのものであるとの認識を共有する。
  - ・ 職員のキャリアアップのための研鑽や教育を積極的に行う。
  - ・ 女性医師支援、子育て職員支援に積極的に取り組む。
  - ・ 地域に貢献する看護師育成のため、津山中央看護専門学校の充実を図る。
6. 健全な経営に努める
  - ・ 営利を目的とするものではない。
  - ・ 患者、地域あるいは職員育成のために 必要な投資を行うと同時に、健全な経営に努める。

基本方針を達成するために

- ・ 職員全員が参加する、発言する風土を作る。  
当然、発言には責任を持つ。（参加する委員会、ワーキンググループなどでは必ず発言する）
- ・ 管理職は、よい慣習はよりよくし、悪い慣習は打破する勇気を持ち、臭いものにふたをしない努力を続ける。そして、その情報は管理職間で共有する。（「三人よれば文殊の知恵」）
- ・ 何か気づいたこと、こうすればよくなるぞという提案を歓迎する。  
この提案は、もちろん具体的解決策を持たなければいけない。  
（「津山慈風会伝書鳩」と名付ける。「林」宛て、優秀な提案は忘年会で表彰）

### 3、4. 基本方針に基づく中期経営計画（2～4年）および令和3年度事業計画

#### 1. 年度目標

	目標		実績		
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
(1) 外来患者数	820人/日	*776.1人/日	893.9人/日	858.5人/日	862.8人/日
(2) 新規入院患者数 ※全病棟	10,800人	*691人/月	11,657人	11,705人	11,803人
(3) 手術件数（手術センター）	4,600件	*3,625件/11ヶ月 対前年85.9%	4,568件	4,412件	4,355件
(4) 内視鏡件数（内視鏡センター）	12,500件	*9,239件/11ヶ月 対前年79.6%	12,465件	12,476件	12,723件
(5) 血管カテーテル治療・検査	1,500件	*1,243件/11ヶ月 対前年92.6%	1,456件	1,516件	1,871件
(6) 放射線治療	150人	*127人/11ヶ月	172人	155人	252人
(7) 陽子線治療	100人	*77人/11ヶ月	118人	123人	114人
(8) 救急車受入れ台数	5,000件	*4,472台/11ヶ月 対前年93.7%	5,137台	4,995台	5,046台
(9) 紹介率	80%	*84.7%	77.2%	82.8%	68.2%
(10) 逆紹介率	100%	*97.8%	90.6%	88.1%	75.0%
(11) 平均在院日数 ※N4東、N3西除く	12.00日	*12.18日	12.08日	12.28日	12.81日
(12) 事業収益	14,402百万円	13,750百万円	15,294百万円	15,001百万円	15,125百万円
(13) 人員の確保、充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師</li> <li>・看護師</li> <li>・内科、外科、麻酔科、心臓血管外科、ERなど</li> <li>・看護師53人補充 ※4月48人見込み</li> <li>・医療アシスタント維持 ※急性期看護補助加算の維持</li> </ul>				
(14) 教育、研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全</li> <li>・感染対策（AST含む）</li> <li>・医療倫理</li> <li>10回</li> <li>10回</li> <li>1回</li> <li>10回</li> <li>7回</li> <li>1回</li> <li>11回</li> <li>11回</li> <li>1回</li> <li>4回</li> <li>7回</li> <li>2回</li> <li>7回</li> <li>5回</li> <li>1回</li> </ul>				

#### 2. 事業および行動計画

##### I お断りしない救急

事業	行動計画	指標
救命センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急受診重症患者あるいは地域医療機関よりの紹介患者に対して、迅速かつ適正な入院管理体制を保つ</li> <li>・救急外来の体制整備（救急救命士、事務、コメディカルとのタスクシェア）</li> <li>・ER構想プロジェクトの進捗</li> <li>・SICUの増床</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ実績</li> <li>・人材確保</li> <li>・インフラ整備</li> </ul>
小児救急拠点病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急受診重症患者あるいは地域医療機関よりの紹介患者に対して、迅速かつ適正な入院管理体制を保つ</li> <li>・救急外来の体制整備（救急救命士、事務、コメディカルとのタスクシェア）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ実績</li> </ul>
周産期母子医療センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NICUの復活</li> <li>・助産師へのタスクシェア（助産師外来の検討）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ実績</li> </ul>
※災害拠点	※地域貢献に記載	※地域貢献に記載
※外来機能・病棟機能の充実	※最先端医療に記載	※最先端医療に記載

## II 最先端医療

事業	行動計画	指標
がん拠点病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん拠点病院として、手術、化学療法、放射線治療、がん登録、緩和ケアの体制を整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん登録</li> <li>・がん手術</li> <li>・化学療法</li> <li>※放射線治療（放射線治療センターに記載）</li> </ul>
放射線治療センター 陽子線治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前立腺がんなど保険適用されている領域および先進医療の適用される領域の症例数増加</li> <li>・医療インバウンドの症例数増加</li> <li>・JMIPの認証、JIHの指定の維持</li> <li>・IMRT（X線）治療の適用症例の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療実績</li> </ul>
定位照射	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IMRT（X線）治療の適用症例の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療実績</li> </ul>
手術センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に手術センター拡張してできた4つのOP室についての効率的な運用</li> <li>・経カテーテル的大動脈弁植え込み術の施設基準取得</li> <li>・手術支援ロボット「ダヴィンチ」の安定した運用および症例の適用拡大</li> <li>・外来手術推進（白内障、ポリペク、慢性硬膜下血腫、抜釘等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術件数</li> <li>・新規手術件数 ハイブリッド、ダヴィンチ、脊椎等</li> <li>・外保連指数</li> <li>・インフラ整備</li> </ul>
血管治療（心臓血管 CN・脳卒中 CN）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に立ち上げた血管造影室（2部屋）についての効率的な運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術件数</li> <li>・新規手術件数 アブレーション、血栓回収（脳外）</li> </ul>
リハビリテーションセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施件数の増加</li> <li>・新規施設基準の取得（がんリハ）</li> <li>・365日リハ検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・件数</li> <li>・実施日数（目標 365日）</li> </ul>
地域完結	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DPC特定病院群の維持</li> <li>・県南に流出している疾患の実績増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DPC特定病院群</li> <li>・新規 診療科・治療・検査 実績</li> </ul>
外来機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門外来の充実</li> </ul> <p>※連携登録医、グループ施設の連携促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者数</li> <li>・診療単価</li> </ul>
病棟機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で70%を目指す</li> <li>・ヘパリン化入院、整形外科の記念病院との連携</li> </ul> </li> <li>・看護必要度Ⅱへの移行</li> </ul> <p>※看護師の増員・育成 ※チーム医療の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規入院患者数</li> <li>・延べ患者</li> <li>・診療単価</li> <li>・利用率</li> <li>・平在日</li> <li>・期間Ⅱ</li> <li>・看護必要度</li> </ul>
チーム医療 NST、認知床ケア、緩和ケア、入退院支援、ICT・AST、輸血センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各チームの活動件数増加</li> <li>・各チームの体制充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラウンド（算定）実績 ・研修会</li> <li>・施設基準（新規・ランクUp）</li> <li>・タスクシフト・タスクシェアの実績</li> </ul>
センター化	<p>従来 救命救急センター、内視鏡センター、画像センター、陽子線センター、手術センター、健診センター、心臓血管センター、脳卒中センター、リハビリテーションセンター、化学療法センター</p> <p>追加 外傷センター、人工関節センター、ペインセンター、褥瘡・創傷センター、肝胆膵センター、周産期センター、呼吸器病センター、</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織設置</li> <li>・診療実績</li> </ul>

## III 地域連携

事業	行動計画	指標
地域医療支援病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携登録医、グループ施設の連携促進</li> <li>・地域連携クリパス稼働件数増加（脳卒中クリパス、がんクリパス、大腿骨頸部骨折クリパス）</li> <li>・地連パス会議、CCセミナーの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介率</li> <li>・逆紹介率</li> <li>・連携登録医</li> <li>・地域連携パス実績</li> <li>・地連パス会議回数</li> <li>・CCセミナー回数</li> </ul>

#### IV地域貢献

事業	行動計画	指標
災害拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体制整備と訓練実施</li> <li>・DMAT派遣体制の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練（受け入れ、院内災害）</li> <li>・DMAT派遣実績</li> </ul>
へき地拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・へき地拠点病院、診療所への医師派遣および代診医派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師派遣実績</li> <li>・代診医派遣実績</li> </ul>
感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二種感染症指定病院（新型インフル・結核）としての患者受入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・件数</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エイズ拠点病院として体制確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会回数</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県北における新型コロナウイルス対策の中心的な役割を担う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療体制の確立</li> <li>・入院体制の確立</li> <li>・検査体制の確立</li> <li>・防護具の確保</li> </ul>
健診事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受入れ実績の増加</li> <li>・オプション検査、プレミアムドッグの件数増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・件数</li> </ul>
医療インバウンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陽子線治療実績の増加</li> <li>・陽子線以外の治療実績の増加（乾癬、糖尿病など）</li> <li>・スーパードッグの件数増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・件数</li> </ul>
第二種社会福祉事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減免、無料相談等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減免割合</li> </ul>
※地域完結	※最先端医療に記載	※最先端医療に記載

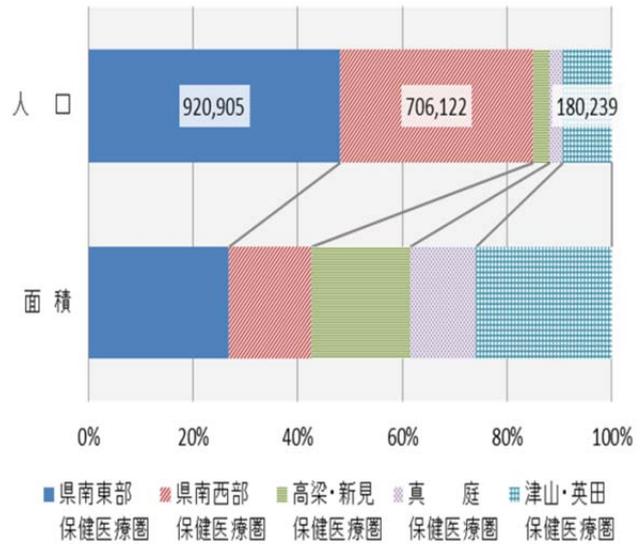
#### V人材育成

事業	行動計画	指標
職員確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師 30 人増員</li> <li>・医療アシスタント 5 人増員 ※急性期看護補助加算の復活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採用目標/実績</li> </ul>
研修医	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチング 10 割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採用目標/実績</li> </ul>
※看護学校（※連携協力）	※看護学校に記載	※看護学校に記載
研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会（医療安全、感染対策、医療倫理など）の実施</li> <li>・実習受入れ（医師、看護師、コメディカル）</li> <li>・インターンシップ受入れ</li> <li>・見学受入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会</li> <li>・実習</li> <li>・インターンシップ</li> <li>・見学</li> </ul>

#### VI健全な経営

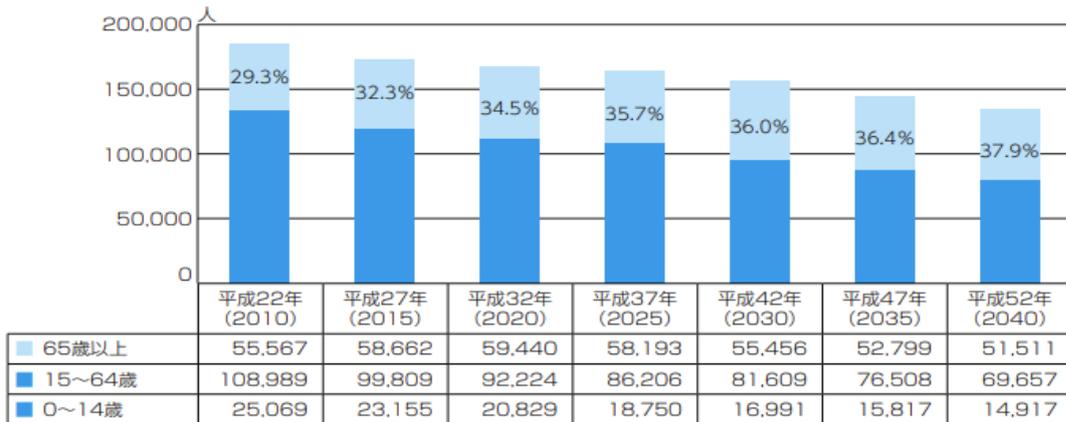
事業	行動計画	指標
診療報酬対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療報酬改定対応</li> <li>・施設基準 ・重要な基準の維持・新規取得・ランクUp</li> <li>・DPC 係数の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設基準（新規・ランクUp）</li> <li>・DPC 係数</li> </ul>
コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GE 採用の検討</li> <li>・医材のコスト削減の取り組み（医材委員会、VHJ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GE 割合</li> <li>・対応実績（薬剤、医材など）</li> </ul>
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間労働対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師 A水準を目指す</li> <li>・看護師 前残業削減、業務改善（配茶、CS セットなど）</li> </ul> </li> <li>・業務改善</li> <li>・ICT・AIの活用（オンライン診療、AI問診など）</li> <li>・職員満足の向上</li> <li>・ハラスメント撲滅を目指す（研修会、相談員制度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト実績</li> </ul>
計画的なインフラ整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化空調設備、配管設備などの更新工事</li> <li>・旧病理検査室や旧腹部エコー室の跡地利用などの改修工事の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備実績</li> </ul>

### 参考資料1 岡山県の人口分布（2018年）



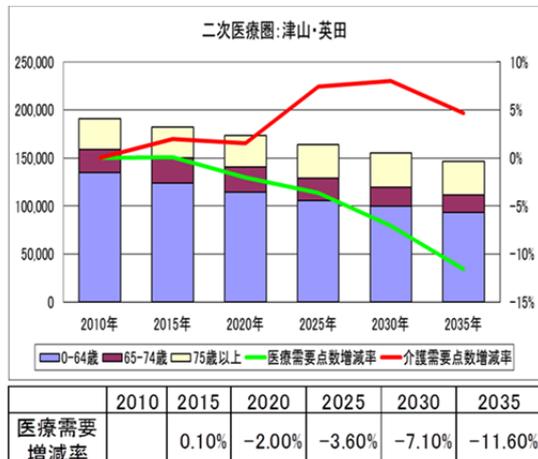
### 参考資料2 津山・英田医療圏の将来人口推計

図表11-5-2-2 津山・英田圏域の将来人口の推計

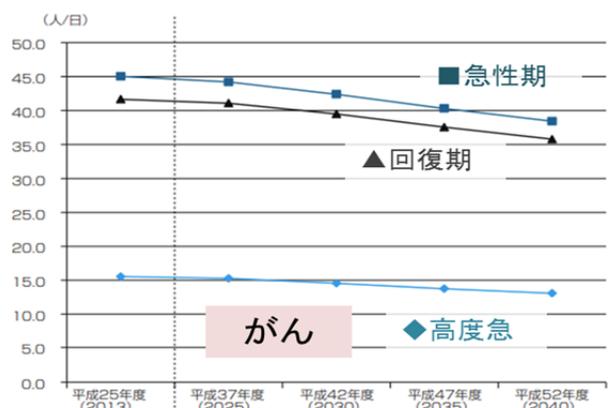


(資料：総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来人口推計」(平成25(2013)年3月推計))

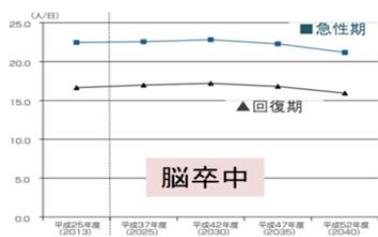
### 参考資料3 津山・英田医療圏の医療需要推計



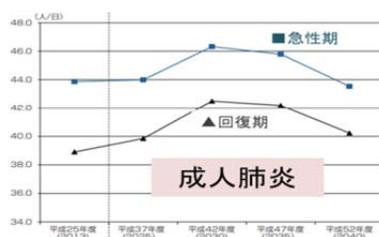
図表5-1-4-18 がんの入院医療需要推計③ (津山・英田)



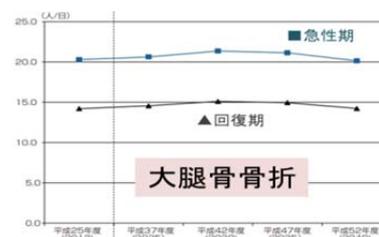
図表5-1-4-21 脳卒中の入院医療需要推計③ (津山・英田)



図表5-1-4-26 成人肺炎の入院医療需要推計⑤ (津山・英田)



図表5-1-4-29 大腿骨骨折の入院医療需要推計③ (津山・英田)



参考資料4 津山・英田医療圏の医療需要推計 (疾患別)

疾患分類	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	増減
感染症及び寄生虫症	100%	101.21%	100.07%	103.22%	102.20%	98.81%	92.99%	100%↑
新生物	100%	100.55%	98.45%	96.63%	93.82%	90.02%	85.52%	95%↓
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	100%	98.41%	96.00%	97.99%	96.46%	92.83%	86.88%	90%↓
内分泌、栄養及び代謝疾患	100%	101.04%	99.83%	99.93%	97.18%	93.14%	88.36%	90%↓
精神及び行動の障害	100%	97.83%	94.59%	90.60%	87.01%	82.88%	78.31%	80%↓
神経系の疾患	100%	99.17%	97.04%	98.11%	95.99%	92.13%	86.39%	90%↓
眼及び付属器の疾患	100%	101.36%	99.95%	100.49%	98.65%	95.08%	90.09%	90%↓
耳及び乳様突起の疾患	100%	97.18%	95.62%	97.42%	94.93%	90.51%	84.42%	90%↓
循環器系の疾患	100%	101.13%	100.02%	103.30%	102.42%	99.08%	93.15%	100%↑
呼吸器系の疾患	100%	100.85%	99.60%	103.76%	103.22%	99.97%	93.74%	100%↑
消化器系の疾患	100%	100.03%	97.91%	98.50%	96.66%	93.11%	87.74%	90%↓
皮膚及び皮下組織の疾患	100%	100.87%	99.64%	103.24%	102.31%	98.91%	92.93%	90%↓
筋骨格系及び結合組織の疾患	100%	100.93%	99.54%	101.24%	99.51%	95.91%	90.51%	90%↓
腎尿路生殖系系の疾患	100%	100.64%	99.28%	100.94%	99.13%	95.44%	90.02%	90%↓
妊娠、分娩及び産じょく	100%	88.84%	81.47%	77.55%	74.23%	69.62%	64.15%	80%↓
周産期に発生した病態	100%	91.32%	80.67%	73.21%	68.78%	65.08%	60.93%	80%↓
先天奇形、変形及び染色体異常	100%	93.00%	85.36%	78.94%	74.02%	69.62%	64.66%	80%↓
損傷、中毒及びその他の外因の影響	100%	100.34%	98.83%	101.16%	99.91%	96.42%	90.55%	90%↓
総数	100%	99.94%	98.00%	98.80%	96.92%	93.27%	87.83%	90%↓

参考資料5 津山・英田医療圏の患者流出入 (2015年・2017年)

図表11-5-2-25 入院患者の受療動向 (一般病床及び療養病床) (平成29 (2017)年)

(単位: %)

受療地 \ 住所地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県外
県南東部保健医療圏	92.43	5.73	12.66	11.87	11.79	58.81
県南西部保健医療圏	6.82	94.08	19.32	4.43	2.40	35.98
高梁・新見保健医療圏	0.40	0.09	63.28	1.11	0.00	0.62
真庭保健医療圏	0.07	0.05	4.52	75.32	2.05	0.62
津山・英田保健医療圏	0.27	0.05	0.23	7.28	83.77	3.97
計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

(資料: 岡山県医療推進課調べ (平成29 (2017)年1月18日時点))

〈平成27 (2015)年〉

(単位: %)

受療地 \ 住所地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県外
県南東部保健医療圏	90.26	5.79	12.95	14.58	11.85	59.07
県南西部保健医療圏	8.27	94.03	20.81	6.25	3.00	36.27
高梁・新見保健医療圏	0.48	0.15	62.31	0.57	0.05	0.93
真庭保健医療圏	0.12	0.00	3.70	72.92	1.74	0.53
津山・英田保健医療圏	0.86	0.03	0.23	5.68	83.36	3.20
計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

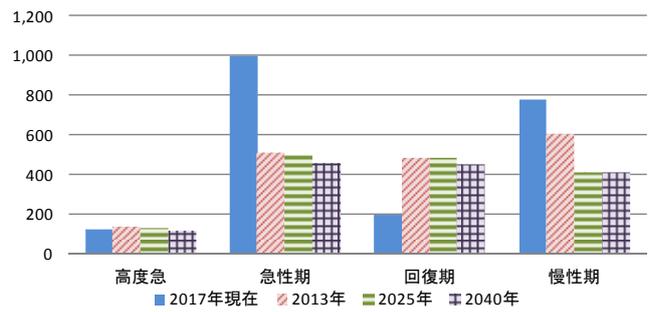
(資料: 岡山県医療推進課調べ (平成27 (2015)年5月13日時点))

(注) 調査指定日現在における入院患者について、医療機関の所在する圏域別に患者の住所地別で集計したものを圏域患者総数に対する割合で示した。住所不詳を除く。

## 参考資料5 地域医療構想 (2018年)

構想区域別許可病床数の現況と必要病床数推計の比較

津山・英田	2017年現在			必要数		
	病院	診療所	合計	2013年	2025年	2040年
高度急	125	0	125	137	132	118
急性期	877	119	996	514	501	460
回復期	187	11	198	487	483	452
慢性期	682	99	781	605	414	411
休棟・無回答		63	63			
	1,871	292	2,163	1,743	1,530	1,441

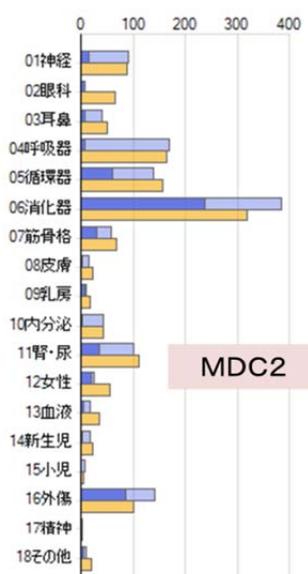


## 参考資料6 推計患者数 (2019年)

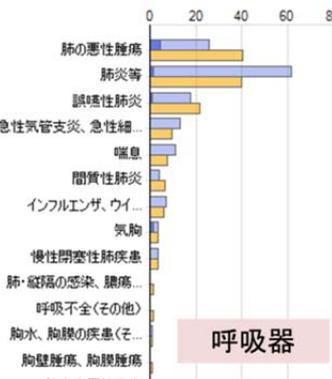
津山中央病院から半径20km圏内

人口 170,804人  
推計患者数 1,340人  
退院患者数 1,267人

■手術あり退院数 ■手術なし退院数 ■推計患者数 (月平均)



※推計患者数は、指定エリア内の人口(総務省)×罹患率(DPCデータ)により算出



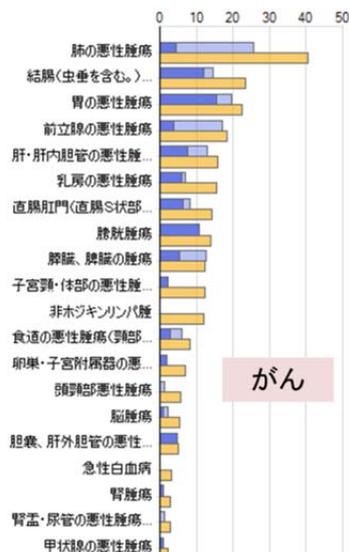
呼吸器



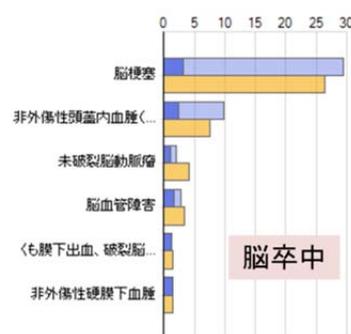
筋骨格



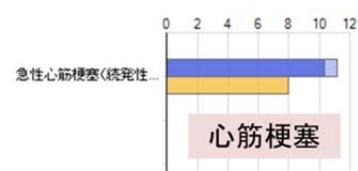
循環器



がん



脳卒中



心筋梗塞



# 令和3年度事業計画

## 津山中央記念病院

### 目 次

1. 津山中央記念病院の理念、基本方針、行動規範
2. 令和3年度事業計画

## 1. 津山中央記念病院の理念、基本方針、行動規範

作成：平成13年 8月14日

改定：平成24年 1月12日(第2版)

直近見直し：令和 3年 4月 1日

### 理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

### 基本方針

- お断りしない救急診療に努める
- 最先端の医療を提供する
- 地域医療機関との連携を強化する
- 地域に貢献する活動を推進する
- 教育、人材育成に傾注する
- 健全な経営に努める

### 行動規範

私たちは、患者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 患者満足：患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供します
2. 地域満足：地域医療支援病院として、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

## 2. 令和3年度事業計画

### 1. 年度目標

	目標		実績		
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
(1) 外来患者数	151.8人/日	*151.1人/日/10ヶ月 対前年90.5%	167.0人/日	170.9人/日	179.6人/日
(2) 入院患者数	60.4人/日	*58.1人/日/10ヶ月 対前年94.0%	61.8人	61.6人	63.3人
(3) 事業収益	1,551百万円	1,506百万円	1,634百万円	1,610百万円	1,610百万円

### 2. 事業および行動計画

基本方針/行動計画	具体化項目	成果物/目標
1. お断りしない救急診療に努める	①診療機能充実	津山中央病院で急性期を脱した患者を受け入れる 自前入院増
		一般病床利用率85% 療養病床利用率80% 10%確保
2. 最先端の医療を提供する	①糖尿病診療機能充実	質の向上
	②透析センター機能向上	コメディカルの確保 患者数増に対応する
	③リハビリ機能の充実	作業療法士の確保 クリニックとの統合による充実
		常勤の糖尿専門医の確保 研修会実施 看護師、MEの確保 火・木・土シフトの検討 作業療法士1名確保
3. 地域医療機関との連携を強化する	①地域連携機能強化	地域包括ケア病床の充実
	②地域連携クリパス稼働	糖尿病クリパス充実
		運用の適正化 糖尿病クリパス実施実績
4. 地域に貢献する活動を推進する	①研修受入	中学生、高校生研修見学受入
	②啓発活動	市民啓発実施
	③第二種社会福祉事業	社会福祉事業継続
		受入施設を増やす 生活習慣病講座 減免、無料相談等
5. 教育、人材育成に傾注する 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る。	①各部門別レベル向上検討	医局
		看護部
		透析室
		栄養課
		リハビリテーション課
		事務部
		職員倫理教育実施
	②職員倫理教育実施	職員倫理教育継続実施
	③医学研究推進	学会出張奨励 研修出張奨励 臨床研究奨励
6. 健全な経営に努める	①病床稼働率の確保	1病棟 利用率確保 適正な運用 地域包括ケア病床の充実
		2病棟 利用率確保 適正な運用(施設基準維持)
		利用率85% 施設基準維持 10%自前入院患者の確保 利用率80%
7. 患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供する	①患者接遇レベルアップ	職員教育年間計画
	②患者満足度調査実施	患者アンケートを実施する
		年3回以上実施 成果の報告書提出 年2回 結果分析と対策
8. 高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジをする	①目標管理制度導入	目標管理制度導入検討
	②コンプライアンス(法令遵守)、危機管理体制強化	コンプライアンス教育監視強化
		危機管理体制強化
	③医療安全情報収集、対策機能を強化する	対策を全院周知徹底 トラブル発生時の検証
④医療安全風土向上	研修会を実施する	
		目標管理制度 研修会開催、監視体制の強化 管理体制の強化 転倒・転落のアクシデントを減数 検証会議事録 年5回



# 令和3年度事業計画

## 津山中央クリニック

### 目 次

1. 津山中央クリニックの理念、基本方針、行動規範
2. 令和3年度事業計画



# 1. 津山中央クリニックの理念、基本方針、行動規範

作成 : 平成13年 8月14日  
 改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)  
 直近見直し : 令和 3年 4月 1日

## 理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

- ## 基本方針
- お断りしない救急診療に努める
  - 地域に貢献する活動を推進する
  - 最先端の医療を提供する
  - 教育、人材育成に傾注する
  - 地域医療機関との連携を強化する
  - 健全な経営に努める

- ## 行動規範
- 私たちは、患者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します
1. 患者満足：患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供します
  2. 地域満足：地域医療支援病院として、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
  3. 職員満足：高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

## 2. 令和3年度事業計画

基本方針／行動計画	具体化項目	成果物／目標	
1. お断りしない救急診療に努める	①診療機能充実	外来機能を充実する 津山中央病院の外来軽減	小児科診療枠を拡大する
	2. 最先端の医療を提供する	①診療可能科の拡大 ②リハビリ機能の充実	医師の確保 訪問リハの充実 疾患拡大
3. 地域医療機関との連携を強化する	①地域連携機能強化	津山中央病院退院の在宅患者の外来診療を実施	外来患者数の増
	4. 地域に貢献する活動を推進する	①第二種社会福祉事業	社会福祉事業継続 減免、無料相談等
5. 教育、人材育成に傾注する計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る。	①各部門別レベル向上検討	医局	専門医の充実
		看護部	看護師の確保
		事務部	接遇の向上
	②職員倫理教育実施	職員倫理教育継続実施	年2回以上
	③医学研究推進	学会出張奨励 研修出張奨励 臨床研究奨励	発表奨励 伝達研修実施 医学雑誌発刊
6. 健全な経営に努める	①患者の確保	広報を充実する	広報の充実
7. 患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供する	①患者接遇レベルアップ	職員教育年間計画	年3回以上実施 成果の報告書提出
		②患者満足度調査実施	患者アンケートを実施する
	8. 高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジをする	①目標管理制度導入	目標管理制度導入検討
②コンプライアンス(法令遵守)、危機管理体制強化		コンプライアンス教育監視強化	研修会開催、監視体制の強化
		危機管理体制強化	管理体制の強化
③医療安全風土向上	研修会を実施する	津山中央病院合同	



# 令和3年度事業計画

## 津山中央看護専門学校

### 目 次

1. 津山中央看護専門学校の理念・目的、教育目標
2. 今年度重点目標
3. 令和3年度事業計画



# 1. 津山中央看護専門学校の理念・目的、教育目標

作成：平成13年8月14日  
改訂：令和3年4月1日（第2版）  
直近見直し：令和3年4月1日

## 理念・目的

一般財団法人津山慈風会の理想とする仁愛の精神を養うと共に、人格の陶冶を目指し、幅広く教養を高め、高度な専門的知識及び技術を教授し、看護専門職として社会に貢献できる有能な人材を育成する

## 教育目標

- (1) 優しさ、思いやり、豊かな人間性を持ち、倫理的配慮のもとに行動できる
- (2) 人間を統合された存在として、身体的・精神的・社会的に理解することができる
- (3) 自己理解・他者理解を通して人間関係を築くことができる
- (4) 看護実践に必要な基礎的知識・技術を習得することができる
- (5) 科学的思考により、自己の考えや行動を決定できる
- (6) 他の医療従事者と連携を取りながら、患者や家族へ適切な援助ができる
- (7) 地域に暮らす人々の健康生活に向けた支援を行うことができる
- (8) 社会情勢に関心を持ち、看護と結びつけることができる
- (9) 向上心を持ち、学び続ける力を身につけることができる

## 2. 今年度重点目標

- (1) 豊かな人間性を備え、主体的に行動できる学生の育成
- (2) 最新の医療知識と技術を身に付け、卒業後も学び続ける学生の育成
- (3) 業務の見直しと効率化を図り、学生と向き合う時間の確保

## 3. 令和3年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 新カリキュラムを効果的に展開できる	効果的なカリキュラム編成 想定演習・総合実習に全員の学生が合格
2. 優秀な学生を確保する	競争率2倍
3. 地元志願者を増加させる	県北高校からの学生確保 地元社会人の増加
4. 看護師国家試験の教育充実をはかる	合格率100%
5. 津山慈風会施設への就職率をあげる	就職率7割以上
6. 専門能力や職員倫理の向上を図る	教育・研修の実施 職員倫理研修に参加
7. 現基礎看護教育の動向の把握ができる	看護系新聞・資料・研修などより 新情報を得る



# 令和3年度事業計画

## 津山中央訪問看護ステーション

### 目 次

1. 津山中央訪問看護ステーションの理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和3年度事業計画



# 1. 津山中央訪問看護ステーションの理念、基本方針、行動規範

作成：平成13年8月14日  
改訂：令和3年4月1日(第2版)  
直近見直し：令和3年4月1日

## 理念

「利用者の特性を踏まえて、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、その療養生活を支援し、心身の機能の維持回復を目指し、利用者の満足できる適切な訪問看護サービスを提供する」

## 基本方針

- ・利用者との信頼関係の構築に努める
- ・教育、人材育成に傾注する
- ・地域医療・保健・福祉機関との連携を強化する
- ・健全な経営に努める

## 行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、看護・ケアマネジメントの質を高め納得と同意に基づく看護・ケアマネジメントを提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる看護・ケアマネジメントのプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

## 2. 今年度重点目標

1. 利用者満足の追及
2. 人材育成

## 3. 令和3年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 利用者の人権を尊重した、利用者第一主義の看護を実践する。	利用者の満足度アップ（調査実施）
2. 接遇の改善を組織的、継続的に進める。（津山中央病院合同）	津山中央病院の研修に参加
3. 医療の質、医療スタッフを充実する。（知識、技術の向上をはかる。）	スタッフの確保、充実
4. 医療安全体制を強化する。（津山中央病院合同）	津山中央病院に準ず
5. 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る	法人内外の研修に参加し、知識、技術を身につける
6. 自己啓発・研鑽制度を設け、自己の能力向上を支援する。	個別に研修計画を立て、実行する
7. 健全経営を維持するために経営管理を強化する。	看護体制強化加算、機能強化型を目指す
8. 医療機関、ケアマネージャー等との連携を深め、利用者増を目指す	医療依存度の高い利用者、終末期の利用者を増やす



# 令和3年度事業計画

## 津山中央居宅介護支援事業所

### 目 次

1. 津山中央居宅介護支援事業所の理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和3年度事業計画



# 1. 津山中央居宅介護支援事業所の理念、基本方針、行動規範

作成 : 平成13年 8月14日  
改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)  
直近見直し : 令和 3年 4月 1日

## 理念

「事業所の介護支援専門員は、利用者が要介護状態にあっても、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮し、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立な居宅介護支援を行う」

## 基本方針

- ・ サービス依頼をお断りしない
- ・ 地域に貢献する活動を推進する
- ・ 地域医療・保健・福祉機関との連携を強化する
- ・ 教育、人材育成に傾注する
- ・ 健全な経営に努める

## 行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、看護・ケアマネジメントの質を高め納得と同意に基づく看護・ケアマネジメントを提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を發揮して、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる看護・ケアマネジメントのプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

## 2. 今年度重点目標

1. 利用者満足の追求
2. 働き方改革

## 3. 令和3年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 利用者の人権を尊重した、利用者第一主義の支援を実践する。	津山中央病院の研修に参加
2. 接遇の改善を組織的、継続的に進める。(津山中央病院合同)	津山中央病院の研修に参加
3. 保健・福祉・医療サービス事業者との連携を強化する。	連携会議の実施
4. 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る	研修会に参加
5. 自己啓発・研鑽制度を設け、自己の能力向上を支援する。	県協会主催の研修会に参加
6. 質の高いケアプランの作成を実施する。	



# 令和3年度事業計画

## アーバンライフ二階町

### 目 次

1. アーバンライフ二階町の理念、行動規範
2. 今年度重点目標
3. アーバンライフ二階町 令和3年度事業計画



## 1. アーバンライフ二階町の理念、行動規範

作成 : 平成22年 5月 1日  
改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)  
直近見直 : 令和 3年 4月 1日

### 理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

### 行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を發揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

## 2. 今年度重点目標

1. 利用者満足の追及

## 3. アーバンライフ二階町 令和3年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 安定的な運営を実施する	運営体制の充実(年間スケジュールに沿う) 平均入居者 80%以上
2. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します	利用者満足度調査を行い、必要な改善を継続的に実施 定期的に研修会を開催 身体高速・虐待防止の研修会
3. 地域満足：それぞれの特性を發揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します	県・社会福祉協議会等の研修会に参加 地域の方々と行事を共催する
4. 高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません	自己目標作成 接遇の推進を組織的、継続的に進める。 安全に関する研修会を実施 感染防止に配慮 標準予防策の徹底



# 令和3年度事業計画

## ナイスデイ二階町

### 目 次

1. ナイスデイ二階町の理念、行動規範
2. 今年度重点目標
3. ナイスデイ二階町 令和3年度事業計画



# 1. ナイスデイ二階町の理念、行動規範

作成 : 平成22年 5月 1日  
改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)  
直近見直 : 令和 3年 4月 1日

## 理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

## 行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

# 2. 今年度重点目標

1. 利用者満足の追及

# 3. ナイスデイ二階町 令和3年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 安定的な運営を実施する	運営体制の充実(年間スケジュールに沿う) 契約率80%以上を維持する
2. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します	利用者満足度調査を行い、必要な改善を継続的に実施 定期的に研修会を開催 身体拘束・虐待防止の研修会
3. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します	県・社会福祉協議会等の研修会に参加 地域の方々と行事を共催する
4. 高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません	自己目標作成 接遇の推進を組織的、継続的に進める 安全に関する研修会を実施 感染防止に配慮 標準予防策の徹底



# 令和3年度事業計画 フィットネス&スパ CARVATA (カルヴァータ)

## 目 次

1. フィットネス&スパ CARVATA (カルヴァータ) の理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. フィットネス&スパ CARVATA (カルヴァータ) 令和3年度事業計画



# 1. フィットネス&スパ CARVATA (カルヴァータ)

## の理念、基本方針、行動規範

作成 : 平成26年 4月 1日  
直近見直 : 令和 3年 4月 1日

### 理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

### 基本方針

- ・ 地域に貢献する活動を推進する
- ・ 教育、人材育成に傾注する
- ・ 健全な経営に努める

### 行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足 : 利用者の人権を尊重し、提供する技術の質を高め納得と同意に基づく健康増進、疾病予防プログラムを提供します
2. 地域満足 : 地域の健康増進に寄与します
3. 職員満足 : 高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできるプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

## 2. 今年度重点目標

1. 利用者満足の追及
2. 会員数増

# 3. フィットネス&スパ CARVATA (カルヴァータ)

## 令和3年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 安定的な運営を実施する	会員数750人
2. 利用者の人権を尊重し、提供する技術の質を高め納得と同意に基づく健康増進、疾病予防プログラムを提供します	利用者満足度調査を行い、必要な改善を継続的に実施 定期的に研修会を開催
3. 地域満足 : 地域の健康増進に寄与します	健康教室の開催 自己目標作成
4. 高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできるプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません	接遇の推進を組織的、継続的に進める。 (津山中央病院の研修会に参加) 安全に関する研修会を実施 感染防止に配慮



# 令和3年度事業計画

## 法人本部

### 目 次

1. 法人本部 令和3年度事業計画



## 1. 法人本部 令和3年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 減免事業を実施し、生活困窮者に医療を提供する	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 津山中央病院</li><li>・ 津山中央記念病院</li><li>・ 津山中央クリニック</li><li>・ それぞれ全保険診療の10%以上</li></ul>
2. 奨学・育英事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 奨学金の貸与、回収を実施</li></ul>
3. 新規事業の検討、実施	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 老朽化空調設備、配管設備したなどの更新工事</li><li>・ 旧腹部エコー室、旧中央材料室の跡地利用、採血室の拡張、助産師外来の開設などの改修工事の検討</li><li>・ 医療インバウンド復活の準備</li></ul>